

近畿地方北部における地殻歪の長期的変化に見られる 2010 年頃の変化
The change of about 2010 to be seen in the long-term crustal strain observed in the Northern-Kinki region.

木村 一洋^{1*}, 小林 昭夫¹
Kazuhiro Kimura^{1*}, Akio Kobayashi¹

¹ 気象研究所

¹Meteorological Research Institute

気象研究所では、1996年に近畿地方北部の福井県敦賀市と滋賀県高島市に石井式のひずみ計を設置し、観測を続けてきた。山本・小林(2009)は、これらの長期的な観測データの2000年頃と2005年頃に歪速度変化が見られることについて、東海地域で同時期に発生した長期的SSEの時間的な経過と類似していること、また主歪方向がGNSSによる変化と整合的であることを指摘した。

今回は、山本・小林(2009)と同様の手法でひずみ計の長期的な観測データに各種処理を行ったところ、2010年頃に歪速度変化が見られた。この変化について、同時期のGNSSとの比較などの調査報告を行ったので報告する。

キーワード: 地殻変動, ひずみ計

Keywords: crustal movement, strainmeter